

議 事 録

件 名	第 3 1 回学校安全対策委員会	
日 時	令和 6 年 5 月 1 4 日（火） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	
場 所	市庁舎 1 7 階会議室	
出席者	委 員	小屋松委員長、広津副委員長、渡邊委員、松田委員、吉富委員、綾部委員 古賀委員、北島委員、柳委員、原委員、東野委員
	事務局	内田主任、櫻井、松田（学校教育課）、豊福主幹、新村補佐、古賀（安全安心推進課）
欠 席 者	福永委員、高橋委員（代理で小倉さん参加）	
傍 聴 者	なし	
次 第	1. 開会 2. 協議事項 （1）2023（令和 5）年度実績及び 2024（令和 6）年度方針（案）について （2）認知度向上・取組の裾野拡大について （3）合同対策委員会について 3. その他 （1）令和 6 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案） 4. 閉会	
質 疑	員 ①	3 ページ（3－①）の校内のけがのデータのとり方について、JISC から指摘があっているが、昨年度から変更はあるか。（昨年度のままでも十分だと思っているが）
事 務 局		データのとり方は、昨年度と同様に行う。
委 員	①	4 ページ（3－②）のいじめの対応について、地域との連携のあり方として、どのようなことが考えられるか。
委 員	②	（関連して）「いじめはいけないことだとは思わない」と答えた子どもがいることを危惧しているが、子どもの現実を知っておく必要があると感じている。地域がどれくらい学校に入って連携できるか。
委 員	③	（関連して）学校が地域との連携をどのように考えているか。
事 務 局		啓発活動を中心に家庭や地域と連携していく。 地域で取り組むこと、家庭で取り組むことなど、役割分担をして協力していく。 どこの団体と連携すればよいかは是非お知恵をかりたい。 未然防止も含め、啓発をしていくことが大切であると考えている。
委 員	③	6 ページ（3－④）の交通事故が多いことについて、どう考えているか。
副 委 員 長		交通安全については、なるべく街角に立って支援していきたい。
委 員	④	子どもの交通事故は、自分自身が気を付けていても巻き込まれることもあるので、危機回避する方法も含めて指導していく。

議 事 録

委 員 ③	4 ページ（3－②）のいじめについて、できる限り情報を教えてほしい。
委 員 ⑤	（関連して）いじめの対応について、先生方は苦勞されているが、けがをさせた児童の保護者への連絡をしてほしい。親は子どもの言うことを信じるので、先生は苦勞している。いじめかいたずらかの判断がつかないところもある。地域との連携を具体化していくべきだと思う。特に、新任の先生は大変だと思う。いじめの取組に対して、もっと丁寧な提案をして、各団体に発信していく必要があるのではないか。
委 員 ②	（関連して）地域も先生と悩みながらもできることを探っていきたい。先生だけが悩むのではなく、地域もいっしょに取り組みたい。活動を具体的に考えていくべき。地域も学校に入り込める機会があるとよいと思う。子どもたちが困らないように。
委 員 ④	人権協と話をする場は管理職が多いが、一般の先生は少ない。研修会等で敷居を低くすることで、一般の先生と人権協とが話す機会が必要である。
委 員 長	本校では月に 1 回生徒指導連絡会を開いて、教育支援サポーターや主任児童員と連携したりしている。これが全学校に配置されているわけではないので、そこも改善していきたい。
委 員 ②	学校によって、その支援の格差があるため、それをなくしてほしい。